



学校だより

令和4年9月30日発行

立川市立若葉台小学校 校長 松村 利一
〒190-0001 立川市若葉町 1-13-1
TEL 042-536-3971 FAX 042-534-6943
HP <http://www.tachikawa.ed.jp/es21/>

学 び の 意 味

校長 松村 利一

教室を回って児童の学習を支援していたり、校長室を訪ねてきた児童と話をしたりしていると、「何のために、誰のために勉強を頑張るのか」と問いかけることがあります。私はそんなとき、次のように話をします。

将来、どんな道を目指すことになったとしても、多くの知識や技能をもっていること、またそれをもとに考えたり工夫したりする力、自分の考えを伝える力は必ず必要です。そして何よりも、めんどくさいなと思っても努力を続ける力、それも工夫し計画的に努力し続ける力を身に付けておくことが、みんなが将来輝くために必要なのです。それは、難しい試験に合格して資格を取らなければならない職業を目指しても、スポーツや芸術の道で活躍したいと思っても、ゲームを作ったりインターネットの世界で活躍したりしたいと思っても同じだと思います。

そんなふうに話すと、子ども達はみんな真剣な眼差しでうなずきながら聞いてくれます。そして、努力の大切さをわかってくれます。私には、努力という言葉を知ると思い出すお話があるので、それを紹介させていただきます。



昔ある1年生の女の子が書いた作文です

努力のつぼ (作文より一部抜粋)

人が何か始めようとか、今までできなかったことをやろうと思った時、神様から努力のつぼをもらいます。そのつぼはいろんな大きさがあって、人によって時には大きいやら小さいやら、色々あります。そしてそのつぼは、その人の目には見えないです。でもその人がつぼの中に一生懸命「努力」を入れていくと、それが少しずつたまって、いつか「努力」が溢れる時、つぼの大きさが分かると言うのです。だから休まずにつぼの中に努力を入れていけば、いつか必ずできる時がくるのです。

私はこの話が大好きです。幼稚園の時、初めてお母さんから聞きました。その時は、横ばしごの練習をしている時でした。それから一輪車や、鉄棒の前回り、跳び箱、竹馬。何でも頑張ってやっている時お母さんに頼んでこの話をしてもらいます。くじけそうになった時でも、この話を聞いていると心の中に大きなつぼが見えてくるような気がします。そして私の「努力」がもう少しで溢れそうに見えるのです。だからまた頑張る気持ちになれます。

目標を達成するためには努力を続けることが必要不可欠です。でも、それを難しくさせる原因がこのつぼにはあります。

① 中を見ることが出来ない

一つ目の理由は「中を見ることができない」という点です。このつぼは中身が見えないので、今どれくらい努力が溜まっているのかがわかりません。半分くらい溜まっているかもしれないし10分の1も溜まっていないかもしれません。人間は、終わりが見えないことが苦手です。いくら頑張っても成果がでないと、「頑張ってもどうせ無理だ」と諦めてしまうのです。でも、もしかしたらもう一回努力を注ぐだけでつぼが溢れていたのかもしれない。つぼが溢れて目標が達成された時をイメージできるように励ましていきたいですね。

② つぼの大きさが人によって異なる

二つ目の理由は、「つぼの大きさが人によって異なる」という点です。例えば、「新しく習った漢字を10個覚える。」という目標を立てたとします。A君は50回書かないと覚えられません。B君は1回書いただけで全て覚えることができます。この時AさんのつぼはBさんのつぼの50倍の大きさになります。当たり前ですが、「他人と同じだけ努力したから同じ成果がでる」というものではありません。だから、他人と比べることなく、自分に必要な努力を理解し、努力できるように育てていく必要があります。